ヒト と ブンカ を つなぐ 情報誌

HCF news

HAMAMATSU
CULTURAL FOUNDATION

VOL. 23
2016
Winter

特集1 ジャズシンガー **綾戸智恵**インタビュー

特集2 ピアニスト **ロマーン・ロパティンスキー**インタビュー

追悼特集 **中村紘子さんを偲んで**

公益財団法人
浜松市文化振興財団
Hamamatsu Cultural Foundation

はじまりはいつも、
ヒトツの感動から。

去る11月、「世界音楽の祭典in浜松2016」が開催された。

浜松市がユネスコ創造都市ネットワークの音楽分野に加盟したことを機に、世界各地の13加盟都市からアーティストを浜松に招聘し、世界の音楽を体感できる事業として実施されたものである。

参加したアーティストたちの演奏は、自国の伝統音楽を重んじた楽曲なのかと思いきや、その予想は大きく外れ、ボーダレスなパフォーマンスが続き、新しい発見と感動に満ちあふれた4日間となった。

「創造都市・浜松」に必要なことは、伝統的なものを大切にしつつも、世界に散らばる様々な音楽に触れること、そしてそのエッセンスを吸収することによって、浜松独自の新しい音楽文化を形成していくことなのかもしれない。

私たち浜松市文化振興財団は、感動と発見をもたらす様々な文化の交流を通して、浜松独自の音楽文化の創造を目指して活動を続けていきます。

すべてのはじまりは、そう、ヒトツの感動から。

公益財団法人
浜松市文化振興財団
Hamamatsu Cultural Foundation

今月の表紙

浜松学芸高等学校
芸術科美術課程３年
竹内　舞

作品名「白息」

冬をイメージした時、初めに浮かんだのが朝の情景でした。
私は、冬の朝の冷たくて澄んだ空気がとても好きです。あの冷たくて、わくわくする一瞬を切り取りました。

HCF news
HAMAMATSU CULTURAL FOUNDATION

VOL.23 | 2016 Winter

contents

04 ［特集1］ジャズシンガー 綾戸智恵インタビュー

08 ［特集2］ピアニスト ロマーン・ロパティンスキーインタビュー

10 ［追悼特集］中村紘子さんを偲んで

12 ［楽器職人のいる街vol.5］江崎ギター工房　江崎 秀行さん

14 ［のんびり、ゆっくり、みゅーじあむvol.12］国産洋楽器展示の充実 ～足踏みリードオルガンから電子楽器まで～

16 オークラアクトシティホテル浜松 ホテルクラウンパレス浜松

18 ［こだわりの食とともにコンサートの余韻を楽しむ。］加賀料理 青葉 THE LORD NELSON

20 ［コンサートにお出掛け、その前に…］ヤマハミュージックリテイリング浜松店

22 ［ちょっと気楽に、もっと音楽を］エスケリータ68

26 HCF Event Schedule

31 INFO ［お知らせ］アクト・プレミアム・シリーズ2017 ～世界の名演奏家たち～

ジャズシンガー 綾戸智恵 インタビュー

Chie Ayado

2017年1月15日、アクトシティ浜松大ホールで開催されるニューイヤーコンサート。今回はアメリカからハリウッドフェスティバルオーケストラによる豪華名曲の数々とともに新年の幕開けを祝います。この公演に、スペシャルゲストとして出演する綾戸智恵さんに、コンサートの見どころなどについてお聞きしました。

■まず、音楽を始められたきっかけを教えてください。

小さい頃の記憶なので良く覚えていないのですが、両親ともに横文字の音楽が好きだったので、常に家には洋楽が流れていました。
そんな環境で育ったので、自然と洋楽やジャズに興味を持ったという感じでしょうか。

■17歳で渡米されていますね。アメリカで過ごしていた時の印象を教えてください。

アメリカは、ハリウッドスターの様な人ばかりいるところかと思っていましたが、現実はそうではなかったです（笑）。

■ハリウッドフェスティバルオーケストラとの共演で、綾戸さんが楽しみにしているところはどんなことでしょう？

今回が初めての共演なので、すごく楽しみです。
こんなに沢山のゴージャスでスペシャルなメンバーの皆さんと、ギャラをお支払いせずに共演できるなんて！

■スペシャルゲストとして綾戸さんが歌うのは、どんな曲ですか？

「夢のカリフォルニア」
「虹のかなたに」（オズの魔法使いより）
「スタンド・バイ・ミー」などの予定です。

■何か、特別な思いのある曲があれば教えてください。

最初にアメリカにいったのはもう40年も前のことです。
今では朝ごはんに何を食べたか忘れることもある母が、ある時突然「あんた、アメリカいったやろ。」「あんたが行ったとき、わたし怖かった。」と大昔のことを言うんです。覚えている覚えていないではなく、心に強く残っていたんですね。でも、当時の母は「行っといで、行きたかったら。あんたの人生や」と送り出してくれたはず。本当は私に行ってほしくなかったんでしょう。それでも、「娘の羽をもいだらあかん」と行かせてくれた。いろいろ苦労かけたなぁと思います。
その頃、流行っていた曲が「カリフォルニアドリーム」（夢のカリフォルニア）です。
私の中では「憧れのカリフォルニア」から今では「ありがとうのカリフォルニア」に代わっている思い出の曲ですね。

■ハリウッドといえば、大ヒット映画の撮影場所としてあまりにも有名ですが、お好きな映画のジャンル、お好きな映画のタイトルは？

そりゃーMGM（映画の配給会社）、「スタア誕生」でしょう。理由??いろいろありすぎて一言では言えません！

■今回のコンサートはニューイヤーコンサートでもあります。綾戸さんのお正月の過ごし方を教えてください。

毎日が正月なので、特別な過ごし方はありません！

■音楽以外にご趣味や、興味のあることは何ですか？

料理することと歌舞伎を観ること。

■健康管理には人一倍気を使っていらっしゃると思います。独自の健康法などあればぜひ教えてください。

そんなん気にしても、いずれは死ぬ命。
「生きる」パワーを充分に使う事です！

■ジャズシンガーに限らず、女優やコメンテーターなど多方面でご活躍です。歌手とその他のお仕事で、それぞれ心がけていることはありますか？

私を呼んでくださったのであれば、「私らしくある」ということですね。

■歌を通して、綾戸さんがお客様に伝えたいことは何でしょう？

一度お客さんに聞いてみたいです（笑）。

■浜松について印象に残っていることは？

うなぎが美味しいこと!!

■これからの目標や夢などを教えてください。

なるべくであれば、長生きしたいです（笑）。

■浜松のお客様へメッセージをお願いします。

ウケると乗りまくる綾戸です。
皆さまの盛り上げで、綾戸を乗りまくらせてください！是非とも会場にいらしてくださいね。
お待ちしております。

綾戸 智恵　あやど ちえ

JAZZ SINGER　生年月日：1957年9月10日　出身地：大阪府

1957年に大阪で生まれた綾戸智恵は両親の影響でジャズとハリウッド映画に囲まれて育つ。3才でクラシック・ピアノを始め、教会ではゴスペルを歌い、中学に入るとホテルのラウンジでピアノを弾くようになる。17才で単身渡米。1991年帰国後は、数々の職業を経験しながら、大阪のジャズ・クラブで歌い始めた。

1998年に発売されたCD『For All We Know』がジャズ・ファンに与えた衝撃は計り知れなかった。それが、身長147センチ、体重40キロにも満たない当時40才の大阪出身の主婦綾戸智恵の鮮烈なデビューだった。2001年、第51回芸術選奨文部科学大臣新人賞（大衆芸能部門）受賞。2003年、紅白歌合戦で熱唱した「テネシー・ワルツ」が大きな話題となる。笑わせたり、泣かせたりのトークを交えながら、ジャズ、ポップス、j-popなど幅広いレパートリーを巧みにとり入れた綾戸智恵の個性的なステージはジャズという枠組みを飛び越えて多くのファンを魅了している。

2015年5月にはアメリカ生活のスタートの地、ロサンゼルスで録音したAlbum「DO JAZZ」をリリース。同タイトルのコンサートツアーをスタートさせるなど、精力的に活動を行っている。

コンサート情報

Program

～アメリカン・ヒーロー!～
スーパーマン
インディ・ジョーンズ

～ハリウッド大作～
ゴッドファーザー
タイタニック
ミッション・インポッシブル

～珠玉の名歌曲～
アンチェインド・メロディ
…ゴーストのテーマより
スタンド・バイ・ミー

～スクリーンで楽しむ名作～
モダン・タイムス
カサブランカ
グレン・ミラー物語
風と共に去りぬ

ヴォーカル
ビリー・キング

スペシャルゲスト
綾戸智恵

※上記は演奏予定曲目で、実際のプログラムは当日発表とさせていただきます。

2017.1/15［日］　14：15開場　15：00開演
アクトシティ浜松 大ホール

入場料（全席指定／税込）　S席 7,000円　A席 6,000円　B席 4,500円
学生席 1,500円（24歳以下）

※未就学児の入場はご遠慮ください。

●お問合せ：文化事業課　TEL.053-451-1114

ピアニスト ロマーン・ロパティンスキー インタビュー

Roman Lopatinsky

昨年行われた第9回浜松国際ピアノコンクール。第1位のガジェヴに続き、栄えある第2位を受賞したのは、ウクライナの若手ピアニスト、ロマーン・ロパティンスキー。穏やかな外見の中に秘める情熱的な演奏が記憶に新しい方もいらっしゃることでしょう。
今回、名フィルの50周年記念特別公演で再び浜松で演奏を披露します。現在ウクライナを中心に活動中のロパティンスキーさんに、コンクールの思い出や近況などを聞きました。

■浜松国際ピアノコンクールを振り返ってみて、一番思い出に残っているのはどんなことですか？

見事なコンクール運営、ボランティアスタッフの完璧な仕事、恵まれた練習環境、格式高い素晴らしいホール、非常に優れたグランドピアノたち、そして感受性豊かな観客たちです。

■浜コンでの経験は、その後のロマーンさんにどのような影響を与えましたか？

コンクールでの受賞によって、審査委員である素晴らしく著名な音楽家達と会うことができ、創造力を掻き立てる会話を交わすことができました。そして日本でコンサートをする機会を得ることができたのです。

表彰式で、海老審査委員長、第1位のアレクサンデル・ガジェヴ、浜松市長と。

さよならパーティへむかうアレクサンデル・ガジェヴ、奨励賞の三浦謙司と。

入賞者披露演奏会（東京）へ向かう新幹線ホームにて、受賞者たちと。

■現在はどのような音楽活動をされているのですか？

ウクライナのチャイコフスキー記念音楽院の大学院で勉強を続けながら、才能豊かな子供たちにピアノを教えています。またイタリアのイモラ国際ピアノアカデミーでの勉強も続けています。演奏活動では、ヨーロッパやウクライナ国内で、ソロだけでなく室内楽やオーケストラとの協演もしています。

■再び浜松で演奏する事について、どんな思いですか？また、名フィルとのコンチェルトについての意気込みや、今回の演奏曲に対する思いなど教えてください。

浜松での再演には、とても大きな喜びと刺激を感じています！オーケストラとの協演は幸せですし、私の創作活動において最も好きなものの一つです。特に、日本のオーケストラは高水準でプロフェッショナルですし、指揮者はピアニストの演奏をよく聴き理解してくれるので、とても快適ですね。
今回演奏する、シューマンのピアノ協奏曲（作品54）は、そのロマンチシズム、情熱と情愛のコンビネーション、また構造の完璧さが魅力だと思っています。

■今後の夢や目標を教えてください。

他の音楽家のように色々な国で多くのコンサートをしたいですし、安定した仕事ができるよう大手のエージェントと契約できたら嬉しいですね。

■最後に、浜松のお客様にメッセージをお願いします。

芸術は人々を結び、美しさや善良さを世界にもたらすと信じています。日本では皆さんから温かいサポートをいただき、本当に感謝しています。
ステージでは会場全体の雰囲気を巻き込み、私自身の全てを捧げたいと思います。

第9回浜松国際ピアノコンクールより

皆さんからいただいた色々な思いに感謝しながら、音楽を通して新たな感動を与えられるよう、心を込めて愛を込めて演奏します。

ロマーン・ロパティンスキー

1993年ウクライナ・キエフ生まれ。ピアニストである両親から5歳よりピアノの手ほどきを受ける。ウクライナ国立チャイコフスキー記念音楽院にて、セルゲイ・リャーボフに師事。これまでに25を超える国内外のピアノコンクールにて入賞を重ね、2015年、海老彰子、マルタ・アルゲリッチ、セルゲイ・ババヤン等が審査委員に名を連ねた第9回浜松国際ピアノコンクールで第2位を受賞した。

名古屋フィルハーモニー交響楽団 創立50周年記念浜松特別公演

チケット好評発売中！

2017年2月5日（日）15:00開演
●アクトシティ浜松大ホール
●指揮：下野竜也
●ピアノ：ロマーン・ロパティンスキー

入場料はP28をご覧下さい。

追悼特集

中村紘子さんを偲んで

2016年7月26日午後、ピアニスト中村紘子さんが逝去されました（享年72歳）。
2015年に大腸がんの診断を受けたことを公表、以後治療と並行して演奏活動を行っていました。
今年3月「第20回浜松国際ピアノアカデミー」でのレッスンが、中村さんが浜松を訪れた最後の機会となりました。浜松市が進める「音楽のまちづくり」事業に長い間ご尽力いただいた功績を、今年８月アクトシティ浜松で開催した追悼写真展の内容を交えてご紹介します。

中村紘子さん略歴

1959年 第28回日本音楽コンクールで史上最年少第1位を受賞（15歳）。
1960年 NHK交響楽団世界一周公演のソリストに抜擢され華やかにデビュー（16歳）。1965年 第7回ショパン国際ピアノコンクールに入賞（21歳）。以後、日本を代表するピアニストとして国内外のオーケストラとの協演、世界各国でのリサイタルなど3800回を越える演奏会を通じ、聴衆を魅了し続けた。
また、チャイコフスキー国際音楽コンクール、ショパン国際ピアノコンクールなどの主要国際コンクールの審査員を歴任、後進の発掘にも尽力。
日本芸術院賞・恩賜賞、紫綬褒章のほか、国際的受賞も数多い。

浜松市との関わり

1994年「第2回浜松国際ピアノコンクール」の審査員に就任。1996年からは20年にわたり「浜松国際ピアノアカデミー」の音楽監督を務め、国内外の若手ピアニストを育成した。1997年第3回から2009年第7回まで5回にわたり「浜松国際ピアノコンクール」の審査委員長としてコンクールの発展に尽力。「浜コン」は今や世界的に権威あるコンクールの一つとして評価を受けるまでに成長した。中村さんが携わったこれらの事業から、上原彩子、チョ・ソンジンをはじめ世界的に活躍するピアニストを数多く輩出している。1994年から音楽文化顧問、2005年には「やらまいか大使」にも就任。

スタッフから紘子先生へ

紘子先生とは第２回コンクールの審査員をお願いしてからのご縁です。その後、第３回コンクールの審査委員長をお引き受けいただくとき、ご提案がありました。それは、日本人出場者の技術や選曲、ステージマナー等すべてのパフォーマンスが余りに現在の国際レベルからかけ離れ、このコンクールを世界一流にする目標は勿論、日本のピアニスト達も世界一流を目指すことは難しい。だからこそ、当時のピアノ教育の枠を超えた若手ピアニストのためのアカデミーを設立し、毎年、世界の著名ピアニストや教授を招聘し、交流・研鑽する事業を立ち上げましょう、というものです。これが今年３月、第２０回を迎えた浜松国際ピアノアカデミーの起点でした。運営ノウハウも整わない時代、企画アイデアはもちろん、組織運営の知識（例えば賞状やメダル、書類の作成様式や、出場者・審査員ケアの方法まで）を細部までご指導いただき、私たち事務局職員を育ててくださいました。何事にも徹底的に邁進される手腕と先見性は、コンクールやアカデミーのこれまでの成果が全てを物語っています。先生はまた、スタッフやピアノメーカーさんなど事業を支える方々を常に大切にし、きめ細やかな対応をされる方でした。先生から多くのご縁をいただいた皆様と共に、溢れる思いを込めて感謝の気持ちをお届けしたいと思います。

Memories of Hiroko Nakamura

第4回浜松国際ピアノコンクール
世界的ピアニスト、マルタ・アルゲリッチがコンクール開催中の浜松を訪問
−2000年11月　アクトシティ浜松 市民ロビー

第6回浜松国際ピアノコンクールプレイベント「中村紘子 協奏曲の夕べ」
大友直人指揮、東京交響楽団と協演
−2006年10月　アクトシティ浜松 大ホール

第7回浜松国際ピアノコンクール
鈴木康友市長、市民ボランティアの皆さんと
−2009年9月　アクトシティ浜松 中ホール

第7回浜松国際ピアノコンクール
アリエ・ヴァルディ、ファニー・ウォーターマン、ピョートル・パレチニら
審査委員各氏とともに第1次予選通過者発表に臨む
−2009年11月　アクトシティ浜松 中ホールロビー

第7回浜松国際ピアノコンクール表彰式
第1位チョ・ソンジン、第2位エルマール・ガサノフ、第3位ホ・ジェウォンと
−2009年11月　アクトシティ浜松 大ホール

第16回浜松国際ピアノアカデミー
レッスンの一環として実際の国際コンクールと同じ環境で実施される
模擬コンクール「アカデミーコンクール」第1位牛田智大と
−2012年2月　アクトシティ浜松 中ホール

浜松国際ピアノアカデミー第20回開催記念コンサートシリーズ東京公演 終演後
チョ・ソンジン、上原彩子、河村尚子ら、これまでのアカデミー受講生に囲まれて
−2016年2月　都内 レストラン

第20回浜松国際ピアノアカデミー ソロレッスン（受講生：尾崎美空）
このアカデミーが最後の浜松訪問となった
−2016年3月　アクトシティ浜松 音楽工房ホール

楽器職人のいる街

vol. 05

浜松市内には多くの楽器産業が集まっていますが、高い技術力を持った楽器職人も多くいるのをご存知でしょうか？
本シリーズでは、楽器産業のこれまでを支えそしてこれからを見つめる職人たちを紹介し、浜松市のさらなる発展の芽を探ります。

江崎ギター工房　江崎 秀行さん

ギター演奏者の間で大きな信頼を得ているギター製作職人が浜松にいます。ヤマハギターを通じて世界中のギター愛好者に多くの商品を提供し、現在はクラシックギター製作家として“江崎ギター”の「最高の音づくり」に日々精進している江崎秀行さんにお話を伺いました。

ギターを生涯の仕事に決心、そしてスペインへ

日本楽器製造株式会社（現ヤマハ）に入社後、2年目に新設されたギター研究課に異動し、高級クラシックギターの開発を担当しました。はじめは手探りでギターの研究に取り組み、名器の分解や測定、コピーを通して製作を始めました。ギターは簡単な構造ですが、研究を進めるうちに音づくりの難しさや奥深さを知り、その魅力を感じ、25歳の時にギター製作を生涯の仕事にしようと決心しました。まずはクラシックギターの真髄を勉強するために本場スペインへ約3年間留学しました。交流のあったグラナダの製作家エドゥアルド・フェレールの下で約1年間、ギターを「物差しではなく感覚で」つくることを学びました。
その後、さらなる師を求めマドリッドの名工マヌエル・エルナンデスの門を叩きました。エルナンデスは高齢で、入門を許されるのに少し時間が掛かりましたが、許可が出た時の嬉しさは今でも覚えています。

左上／楽器製作はほぼ手作業。木材を削るときの微妙な調節も熟練の技。
左下／サウンドホールの周りにあるロゼッタは、江崎さんのイニシャルである「H」と「E」をモチーフにして作られたもの。

エルナンデスから学んだこと

工房の一角にあるエルナンデスの後ろの席で、1本のギターを製作することから修業が始まりました。エルナンデスの製作方法は機械を使用せず全てが手作業で、苦労しながら時間をかけて製作し、完成した時の喜びはこの上ないものでした。
師匠から繰り返し言われたのは「急ぐと良い仕事はできない」ということ。それから「50年先の状態を想定して作れ」「見えない部分も丁寧に」「妥協するな」など、彼の作業態度や休憩時間の会話を通して、製作技術より精神面の大切さを学びましたね。

1本1本に魂を込めて

私のギター製作の原点はエルナンデスの工房にあります。可能な限りスペイン伝統の製作方法を継承し、究極の“江崎サウンド”を求めています。エルナンデスは「満足できるギターを製作するには200年掛かる」と漏らしていました。私もその言葉を胸に、妥協することなく音の改善を行っています。音づくりは材料や構造、寸法なども大きな要素ですがもっと大切なことは「ギターに製作者の魂を込める」こと、製作に向かう姿勢だと思います。そして「愛情と根気」をもって取り組むこと。子育てと同じで、物づくりの原点ですね。

私の師匠

マヌエル・エルナンデス氏
(1895-1975)

目の前でギター製作を見て学び、多くのことを語り合った師（1974年）。現在の江崎さんにとっての原点となっています。

江崎 秀行　えざき ひでゆき

昭和21年生まれ。福岡県出身、浜松市在住。日本楽器製造株式会社（現ヤマハ株式会社）に入社後、同社における高級クラシックギター「GCシリーズ」の開発に携わる。約3年間のスペイン留学を経て「GC-30B」を製作する。
定年退職を機に市内に自身の工房を構え、現在も「江崎ギター」の製作を行っている。ギター製作のほか、ギター愛好者の同好会「浜松ギター鑑賞友の会」や「浜松ギターアンサンブル・アコルデ」の会長も務め、ギターの魅力探しとギターの輪を広げている。

江崎ギター工房
浜松市東区半田山3-33-12
TEL.053-433-8917 ／ 090-1479-5804
HP http://www4.tokai.or.jp/he_guitar/index.html

のんびり、ゆっくり、みゅーじあむ vol.12

国産洋楽器展示の充実
～足踏みリードオルガンから電子楽器まで～

浜松市楽器博物館館長　嶋 和彦

過日、ユネスコ創造都市イベント「世界音楽の祭典ＩＮ浜松」が開催された。世界から音楽家が集い、伝統音楽、民俗音楽からクラシック、ポップス、ジャズ、そしてそれらがミックスされたものまで、幅広い音楽が披露された。吹奏楽、ピアノ、オーケストラ、合唱等、西洋音楽中心の音楽活動が盛んな浜松で、このような多種多様多彩な音楽を体験できたのはすばらしいことだろう。体験した分だけ、音楽のパレットが大きくなるのだから。

さて、浜松がユネスコ創造都市（音楽部門）になったのは、当然のことながら地域の音楽産業と音楽活動があればこそである。その音楽活動も、江戸時代から続く伝統芸能もあるが、日常市民が楽しんでいるのは西洋音楽であり、楽器を使った音楽が多いことは言うまでもない。

1995年開館当時の国産洋楽器コーナー。白点線で囲まれたの小さな四角の展示台とそのまわりにわずか10点ほどの展示。

今日の浜松の、というよりも日本の音楽活動は、鍵盤楽器に代表されるように、舶来製品よりも安価で提供された上質の国産製品の普及によってより活発になった、ということは事実である。

明治中期からのリードオルガンやピアノを皮切りに、20世紀には電子楽器が登場し世界をリードするまでになった。浜松は和楽器の生産地ではないが、130年近い西洋楽器の生産を通じて、日本の西洋音楽の普及と質の向上に貢献してきたことは確かである。

そのような歴史に、80年代からの「音楽のまち」づくり政策が加わり、1995年に全国初の公立楽器博物館である当館が生まれた。日本の音楽大学附属の楽器博物館や、欧米の名だたる楽器博物館とは異なる、日本独自・浜松独自のコンセプトで活動をし、文化庁芸術祭レコード部門の大賞や世界的な小泉文夫音楽賞の受賞に輝いた。地方都市の文科系博物館として年間9万人ほどの入館者が全国から訪れ、今や世界からも一目置かれる楽器博物館となった。

浜松市楽器博物館の特徴はといえば、地元の西洋楽器製造産業の遺産と、それにとどまらない世界の楽器文化の有形無形の遺産が集積されて、生き生きとした博物館活動が行われていることである。内容的にも規模的にも、このような楽器博物館は世界において稀であり、浜松の誇る教育文化観光施設として国内外から高い評価を受けている。

現在の展示。手前の電子楽器から奥のリードオルガンやピアノまで、およそ 200 点が並ぶ。

そして、現在進行中の変化は、国産洋楽器展示エリアの拡充である。1995年の開館時に比べて100倍以上の規模になってきている。

数年前にビンテージ電子楽器展示コーナーができ、最近では各メーカーの協力を得て、最新現行製品も仲間入りした。明治から現在に至るまでの浜松と日本製の楽器が誇らしげに並ぶ。

国産洋楽器展示エリアは、老いも若きも、人々が自分の音楽人生に思いを馳せる、素敵な空間になりつつある。浜松の名所がまたひとつ、生まれようとしている。

古いものこそ新しい。多くの見学者が昔の楽器に魅了される。

浜松市楽器博物館

開館時間　9:30-17:00
休館日　毎月第2.4水曜日（祝日の場合は翌日、8月は無休）
12/29-1/3、施設点検等の日
観覧料　大人 800円　高校生 400円
中学生以下・70歳以上・障害者無料
TEL.053-451-1128　HP　http://www.gakkihaku.jp

Okura
ACT CITY HOTEL
HAMAMATSU

オークラアクトシティホテル浜松
Okura Act City Hotel Hamamatsu

［ランチ＆スイーツバイキング］
大人・シニア2,500円（大人のみ土・日・祝日は2,800円）、小学生1,600円、幼児（4才～）900円（各 税金含む）

2016年 夏、「ランチ＆スイーツバイキング」として生まれ変わった、オークラアクトシティホテル浜松2階 レストラン「フィガロ」のランチ。

毎月、季節の食材を使ったメニューや、テーマに合わせたメニューをご用意しています。ホテルシェフこだわりのソースを使ったお料理やホテル特製のスープ、オークラベーカリー特製のパンもおすすめです。

そして一番のおすすめは、新しく生まれ変わったスイーツコーナー。オークラ自家製のケーキやグラススイーツ、焼き菓子などが種類豊富に並びます。季節のフルーツを使ったタルトやムース、ゼリーをはじめ、マドレーヌやフィナンシェ、マカロンなど、オークラの多種多彩なスイーツを心ゆくまでお楽しみいただけます。さらに、ロールケーキやクレームブリュレを店内で仕上げる、時間限定のライブパフォーマンスも。オークラのお料理とスイーツを五感で楽しめる、フィガロの「ランチ＆スイーツバイキング」です。

オークラアクトシティ
ホテル浜松2階
レストラン「フィガロ」

レストラン「フィガロ」
浜松市中区板屋町111-2 オークラアクトシティホテル浜松2階
［営業時間］ ランチ／ 11:30 ～ 14:00（土日祝～ 14:30） ディナー／ 17:30 ～ 21:00 ※土日祝のみ
［ご予約・お問い合わせ］ レストラン予約受付（9:00 ～ 20:00）053-458-1233

HOTEL CROWN PALAIS
HAMAMATSU

ホテルクラウンパレス浜松
Hotel Crown Palais Hamamatsu

井の国 戦国浪漫 直虎と直親クッキー 1,080円（税込） ※10個入り（蜜柑クッキー 5個＋お茶クッキー 5個）

JR浜松駅前のホテルクラウンパレス浜松の中国料理 鳳凰では来年1月から放送される井伊直虎公に因んだ新しい浜松のお土産を考案致しました。直虎公と直親公ゆかりの地の食材「三ヶ日の蜜柑」や「掛川のお茶」をクッキーに。一箱で二つの味をお楽しみ頂く事ができます。女城主という事から女性に嬉しい美肌に良いとされるハトムギや地元の特産品の遠州産落花生も使用。包装紙も井伊の赤備えをイメージしたこだわりの一品です。
戦国の恋のものがたり直虎公と直親公に思いをはせて…。夢とロマンが薫るお菓子です。是非、浜松話題のお土産としてご用意されてみてはいかがでしょうか？
「井の国 戦国浪漫 直虎と直親クッキー」10個入り
（蜜柑クッキー 5個＋お茶クッキー 5個」1箱1,080円（税込）

ホテルクラウンパレス浜松14階
中国料理 鳳凰

中国料理 鳳凰
浜松市中区板屋町110-17 ホテルクラウンパレス浜松 14階
TEL.053-454-0632
［営業時間］ ランチ／ 11:30 ～ 14:30（ラストオーダー 14:00） ディナー／ 17:30 ～ 21:30（ラストオーダー 20:30）

協力：浜松バル実行委員会

香箱蟹（こうばこがに）　時価。

英国パブと言えばこれ！フィッシュ＆チップス　700円（税込）。

加賀料理 青葉

11/7に移転、リニューアルオープンしたばかりの加賀料理「青葉」。木材をふんだんに使った真新しい店内で、石川県の郷土料理である加賀料理を味わうことができる、しっとり落ち着いた雰囲気のお店です。

これからの季節におすすめは、何と言っても加賀を代表する冬の味覚、香箱蟹（こうばこがに）。香箱蟹は北陸地方で捕れる雌のズワイ蟹で、雄に比べ小ぶりながら、外子と呼ばれる茶色い卵と、オレンジ色の内子（未成熟卵）、そして蟹味噌が絶品。身も濃厚で旨味がギュッと凝縮されています。11月上旬から12月末と漁期が短く希少な香箱蟹を、浜松に居ながらにして味わえるということで、毎年大人気なのだとか。金沢特産のすだれ麩と一緒に鴨肉を煮込み、小麦粉でトロミをつけた煮物である治部煮（じぶに）も、是非味わいたい一品です。

青葉を訪れたら、加賀料理の特徴である器にも注目を。石川の伝統工芸である九谷焼だけでなく、有田焼、山中塗の漆器など、大将のお眼鏡にかなった美しく品のある器と、美味しい料理とのハーモニーが楽しめます。豊富に取り揃えられた北陸の日本酒を、沢山の種類の中から好みのお猪口を選んで熱燗にできるサービスは、特に女性に喜ばれているそうです。

金沢の老舗料理旅館で修業を積まれた大将と、金沢出身の女将とのお話に花を咲かせながら、産地直送の肴に舌鼓を打つ…そんな夜を是非お楽しみください。

大将の 夏目 陽介さん

奥様で女将の藍さんとは、商いも子育ても二人三脚。そんなお二人を見て育った小学生の娘さんは、まだ幼い弟さんの面倒をよく見るしっかり者なのだそう。休日は家族でリラックスして過ごすほか、サウナへ行ってリフレッシュして、明日への鋭気を養っているとのことです。

加賀料理 青葉

浜松市中区鴨江4丁目28-1
TEL.053-451-3876
［営業時間］18:00 ～
［定休日］　日曜日（不定休あり）

THE LORD NELSON

浜松市街には夜になると灯りをともすバーがいくつもありますが、その中でも「THE LORD NELSON」は本格的な英国パブを目指したお店。モール街を南に進み、イギリスの国旗“ユニオンジャック”が目印です。2012年にオープンした比較的新しいお店ですが、イギリスに滞在経験のあるオーナー中川さんのこだわりがぎゅっとつまっています。店内はダークブラウンの木目調で重厚感のある雰囲気。世界各地のビールの銘柄が書かれたコースターやビール瓶が並べられ、現地のパブに足を踏み入れたような気分です。英国パブの特徴は、カウンターで注文をして飲み物を受け取り、好きな場所で楽しむ“キャッシュ・オン・デリバリー”。気軽に立ち寄って一杯、といった時や、少し飲み足りない時の2軒目、といった気分の時に入りやすいスタイルです。「THE LORD NELSON」は、ギネス社から最高品質の店舗だけに贈られる「ベストパブ」を静岡県で唯一受賞し、樽詰めドラフトビールを取り扱う数少ないお店。また、“エールビール”と呼ばれるフルーティで豊かな薫りと深い味わいをもつビールを豊富に取り揃え、話題の「よなよなエールビール」を長野県の工場から直送で仕入れているのも自慢です。どちらもなかなか飲むことが出来ない逸品です。そして英国パブといえば外せないのが、フィッシュアンドチップス。イギリスまで出向き本場の調理方法を学んできた中川さんが「日本で出来る最高のフィッシュアンドチップス」と胸を張る名物を、ぜひ一度ご賞味ください。

（お話：オーナーの中川智三郎さん）

マスターの
サイトウ・ジョバンニ・ユウゾウさん

ブラジルにルーツを持つユウゾウさん。カウンター越しに明るい笑顔で迎えてくれます。70～80年代のロック音楽が好きで、もちろんイギリスのバンド、クイーンやビートルズもお気に入り。学生時代はギターの弾き語りもしていたそうです。お酒をお供に音楽談義にも花が咲きそうですね。

THE LORD NELSON
ザ・ロード・ネルソン

浜松市中区鍛冶町100-1
ZAZA CITY中央館1階
TEL.053-522-7772
［営業時間］
16:00 ～ 23:00（L.O.22:30）
金・土 ～ 24:00（L.O.23:30）
［定休日］ZAZA CITY浜松の休日に準ずる

コンサートにお出掛け、その前に…

vol.14

［映画音楽］

映画が生まれてから今日まで、映画音楽は常に作品に彩りを加えてきました。映画という作品の中で、物語の世界観や展開、登場人物の心の動きをも表し、見る人に想像させる、とても重要な役割を映画音楽は担っています。映画音楽がなければ、その映画は違うものに感じられることでしょう。

1895年にフランスのリュミエール兄弟が歴史上初の上映会を開いた時、既に音楽は映画にとって必要不可欠なものでした。ただ当時の映画音楽は今日のものとは違い、映写機の機械音を紛らわせるためのピアノ演奏だったそうです。当時の映画は「無声映画」といい、音声、音響が入っていなかったため、生演奏、またはその録音を映画館で流していました。映画の人気が高まり映画にとっての音楽の役割が増していくと、効果音も兼ねての打楽器導入や、オーケストラ伴奏が始まりました。当時は1つの作品のためのオリジナル曲というものがなく、映画音楽専用の楽譜集のようなものの中からシーンに合う楽譜を用意し、画面に合わせて演奏をすることになっていたそうです。

1908年に映画史上で初めて映画の為にオリジナル曲がつくられてから、ピアノやオーケストラによるクラシック音楽だけでなく、さまざまなジャンルの映画音楽が生まれ、作品とともに愛されてきました。映画音楽を聴くと自然とその物語や場面が浮かぶのは、音楽が物語の一部になっているということです。

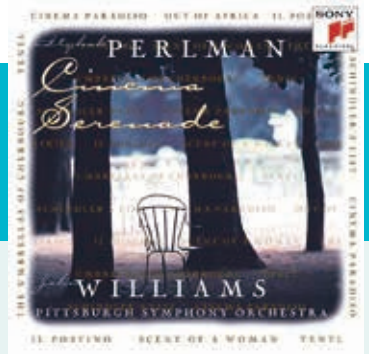
現在、映画音楽は世界中で多くの団体によって演奏されています。中でも2017年1月にアクトシティ浜松で公演を行う「ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ」は、全米屈指の演奏家40名で結成され、最新の映画、テレビ、ブロードウェイ・ミュージカルから幅広いレパートリーを有し、全米で絶大な人気を誇るオーケストラです。2015年以来2年ぶりの来日となる今回は、晴れやかなニューイヤーコンサートの時期に、映画音楽を愛する豪華ゲストが華を添えます。近年は中国や香港に加えて、こうして日本に来てくれるのは何とも嬉しいことです。今回のコンサートでは名画名曲に一部スクリーン上映、ビリー・キング氏、綾戸智恵氏のヴォーカルなどを加え、よりいっそう深く映画の世界を味わえることでしょう。

［3F　鍵盤・弦楽器売場］　山本 詩織

ヤマハミュージックリテイリング 浜松店

10時30分～19時　［定休日］水曜日
〒430-0933　静岡県浜松市中区鍛冶町321-6
［2F楽譜・CD売場］　TEL.053-454-4419
［3F鍵盤・弦楽器売場］　TEL.053-454-2770

店員さんに聞きました！ おすすめCDのご紹介



シネマ・セレナーデ

ジョン・ウィリアムズ（指揮）
イツァーク・パールマン（ヴァイオリン）
ピッツバーグ交響楽団

SICC-311　¥1,728（税込）

人の記憶と共に想い出を彩る音楽は、銀幕の中でも重要な想い出となり、多くの人々に親しまれています。「ニュー・シネマ・パラダイス」や「風と共に去りぬ」、「シェルブールの雨傘」など、多くの映画のテーマ曲は聴くとすぐに物語の情景が浮かんでくるものばかりです。

今回紹介したいCDは、そんな銀幕の名曲がたくさん詰まった「シネマ・セレナーデ」です。映画音楽の第一人者ジョン・ウィリアムズ（指揮）が、ヴァイオリン界の巨匠イツァーク・パールマンをソリストに迎えて、映画音楽を代表する珠玉のメロディを演奏したアルバムです。

作曲家としても、指揮者としても有名なジョン・ウィリアムズは、「スター・ウォーズ」シリーズの音楽で大変有名ですが、「ジョーズ」や「スーパーマン」、「ハリーポッター」の曲なども手がけ、ボストン・ポップス・オーケストラの指揮者も務めていました。どれをとっても有名な作品ばかりで、映画音楽には欠かせない人物です。

またパールマンはイスラエル生まれのヴァイオリニストです。20世紀後半における最も偉大なヴァイオリニストの一人とされ、またその抜群の知名度で、演奏のみならず教育者としても評価されています。1993年に演奏した「シンドラーのリスト」の主題は、切なくも美しい旋律でとても有名です。

このアルバムの中には「ニュー・シネマ・パラダイス」や「シェルブールの雨傘」はもちろん、実際のサウンドトラックでもパールマンが弾いていた「シンドラーのリスト」を始め、ヴァイオリンの美しい音色が充分に活かせる名曲ばかりが厳選されています。2人の巨匠による見事なコラボレーション作品で、サウンドトラックとはまた違った魅力を楽しむことができます。映画音楽がお好きな方、ヴァイオリンがお好きな方には是非、おすすめの一枚です。名画の記憶と一緒に、是非素敵なヴァイオリンの音色をお楽しみください。

［2F 楽譜・CD売場］　長尾 真奈美

ちょっと気楽に もっと音楽を 03

「音楽をもっと気楽に楽しんでほしい、日々の生活に音楽を」というテーマで、近場で気楽に音楽を楽しめる素敵な場所をご紹介していきます。

取材日／10月3日　文・撮影／(公財)浜松市文化振興財団

エスケリータ68

この方々に伺いました！

後藤（ごとう） 弘（ひろし）さん・香朱実（かずみ）さん

[弘さんプロフィール]
1968年 沼津市生まれ
中学生の頃から音楽とファッションに興味を持つ。都内のライブハウスなどで強い衝撃を受け、いつか自分のお店を開くため飲食と服飾関係の仕事を渡り歩く
1991年 POLKA DOT SLIM（モダンバー＆ライブ）を立ち上げ様々なイベントを企画
2001年 ESQUERITA68を開業（自家製ベーグル＆ライブ）、今年で15周年を迎える

最初のライブはブルースバンドから

今から25年前の1991年、市役所の近くで「ポルカドットスリム」というお店をやっていました。1階に「メスカリン・ドライブ」というライブハウスのあったビルの2階です。当時はクラブブームで、レコードも好きだったので、ミュージック・バーみたいなことがやりたくて始めました。
最初の頃は看板なども無く、なんとなく始めた感じでした。クラブというものも知られていない頃で、お客様はほとんど来ませんでした。そんな頃、知り合いのレコード屋さんから「週1回、ブルースナイトみたいなライブをしたらどう？」と勧められ、ライブを始めたのです。
最初は、おじさんが普段着で演奏するブルースのライブに「何!?つまんな〜い」と思っていました。
私たちは古くてもアップテンポな曲が好きだったのですが、毎週やっているうちに、いつのまにかそのリズムにはまり、ブルースバンドに興味を持ち始めました。それが高じて東京まで行き、気になった「バンバンバザール」というバンドに誰の紹介もなく直接電話をして、ライブをするために浜松まで来てもらうことになったんです。
東京のバンドはクオリティも高く「ライブってこんなに楽しいんだ」と思い、彼らを通じて東京からいろんなバンドに来てもらうことになり、次第にライブハウスのようなお店になっていきました。

自家製ベーグルで“カフェ”に転向

結婚し、子供が生まれてからそろそろ「昼間の仕事にしたいな」と思い、カフェのできそうな場所を探してここを見つけました。当時、浜松では珍しかったベーグルを、輸入でなく自家製で出すお店を開きたかったのです。独学で勉強し、試行錯誤でベーグル作りをしてカフェをオープンさせました。最初のベーグルは今と比べたら随分硬いものだったと思います（笑）。

ライブハウスとカフェの2店舗を同時進行で3年程営業していましたが、ライブハウスのビルが老朽化したことで最終的に現在のカフェのみにシフトしていきました。
カフェでは最初の頃ライブはしていなかったのですが、お客さんや演奏者さんからの要望もあってアコースティックのライブを始めるようになり、今ではドラムなども入って本格的に行うようになりました。近隣住民の方々も、この店が“ライブもするカフェ”なのだと理解してくださっていて、住宅街の中でも本格的なライブを楽しんでいただけます。時折、ご近所の方がふらっとライブに来てくれることもあって、嬉しいですしホッとしますね。

昼と夜、それぞれに

昼のカフェと夜のライブでは客層が少し違います。お店の出入り口には色々なお店やライブのチラシを置いていますが、カフェに来るお客様は食べ物や雑貨店のチラシを持っていきます。「ライブもやっていますよ」と積極的にお勧めした時期もあります

ライブの様子（2016.10.7）HIRO&HIROSHI　Vo.&Gt.のHIROさんは浜松出身。数年ぶりの里帰りライブ。

が、反応が期待ほどでなかったので、今は尋ねてくださる方にご案内するようになりました。食べ物もおいしくて自然なものを、とこだわって作っているので、ぜひ味わってほしいですね。ベーグルだけでなくパスタやオムライスもあります。ライブの前にお食事を楽しんでくれたり、カフェとライブの両方を楽しみに来てくださる方もいます。

ロック、フォーク、お笑い、落語etc 面白ければ何でも

ライブの時は、カフェのテーブルを減らしてステージを作り、小さなライブ会場に変貌します。フライヤー（チラシ）やラジオだけではお客様はなかなか来なくて、知り合いが見に行って「すごく良かったと聞いたから」という口コミ・評判が一番。あとはもちろん、アーティストが良いライブをしてくれれば次につながっていきます。
ライブの雰囲気は色々。関西系のノリで時々ヤジを飛ばしたりすると、すごく盛り上がって会場に一体感が生まれます。実はこの店、バンド界ではアーティストにも評判の良い場所なんです。ジャンルは、ジャズやロック、フォーク、お笑い、落語、バーレスクなど何でもあり。１月に予定しているアコーディオン民謡も面白いですよ。普通はなかなか見られないようなものが、ここでは目の前で見られます。
二人とも昔から変わっているもの、面白いものが大好きなので、ライブに出演したい方には「面白ければどうぞ」という感じですね。基準はサブカルチャーっぽくて、教科書どおりじゃないというか…私たちが見て個性的だと思えば、ぜひやってほしいです。出演者は東京などから呼ぶバンドが７～８割と多くて、地元の方は２～３割くらいかな。まだ、地元の演奏家さんが少ないのですが、これから繋がりをどんどん持っていきたいと思っているんです。

他にない個性を楽しんで

内装も個性的です。面白いものを集めて店内に置

スピーカーは球体でとても珍しいもの。店内に４つ設置され、どこにいても自然に同じ音が聞こえる音響なのだそう。

いたり飾ったりしていたらこうなりました（笑）。変な場所！と思う方もいるでしょうけど、今のスタイルが好きでここまで来たので、この雰囲気を楽しんで来てくれるお客様がいたらそれでいいかなと思っています。今年は15周年なので、いろんな企画ライブも予定しているんです。例えば蓄音機を持っている方に来てもらったり、見せるエンターテイメントを盛り込んだり。エスケリータならではの楽しいイベントをたくさんやっていきたいですね。

100点じゃなくても「楽しかった！」と言ってもらえる場所を目指して

将来は、今やっているライブの音響やお食事などの質をさらに深めていきたいです。そして、いろんな人に出演してもらったり見てもらったりして、たくさんの人に出会いたいですね。100点じゃなくても「ここに来て楽しかった～！」と帰ってもらえる場所になりたい。みんなが、お互いに貴重な時間を過ごせる場所になるよう、5年、10年先も頑張ってずっと続けていきたいと思っています。

ここへ来たことのない方へ

まずはランチからいかがですか？ もちろん、何も予習しないままライブへもぜひどうぞ！ 下見気分でランチに来てもらってもOK。インターネットからライブの様子を見ることもできます。ライブは解放感があるので、スタッフや出演者にどんどん話しかけてくださいね。

店名のこだわり
アーティスト「エスケリータ」から命名。コンセプトを60年代後半にしたかったこと、当時カフェブームで番号を付けるのが流行っていたことから、後藤さんの生まれ年「1968」をつけたとのこと。
メジャーではないけど、実力のあるスゴイ人に魅力を感じるそう。

スネアドラムへのこだわり
店主の後藤さんはドラマーだったこともあり、収集したスネアドラムが展示されている。ビンテージもの、特に1960、70年代のものがお好きなのだとか。
時にはライブで飛び入り参加することも。

おすすめベーグルサンド

北欧サンド（ランチ）　1,050円（税別）
※コーヒーは+200円（税別）

エスケリータ 68

〒432-8068
静岡県浜松市西区大平台2-48-30
リサーピア大平台１F
TEL.053-485-9968

[HP]
http://esquerita68.jimdo.com/

（公財）浜松市文化振興財団

イベントスケジュール

2016.12 ► 2017.3

HCFオンラインショップ
http://www.hcf.or.jp/

HCFオンラインショップをぜひご利用ください。
様々な公演のチケットが、24時間オンラインで購入できます。

★システム利用料0円・発券手数料0円
★送料などの実費はかかりますが、その他の手数料は一切なし。
★クレジット決済／送料315円（全国一律）
★代金引換／送料315円（全国一律）＋代引手数料315円（一律）
★直接アクトシティチケットセンター窓口にての購入（現金のみ）もできます。
詳しくはHPをご覧ください。http://hcf.or.jp/

子ども音楽フェスティバル

12.11（日） 14:30

●浜北文化センター 大ホール
●入場無料
●文化事業課　TEL.053-451-1150

イヴニングサロンコンサート

「クリスマスジャズ“アイル・ビー・ホーム・フォー・クリスマス”」

12.14（水） 19:00

●楽器博物館 天空ホール
●全席自由：一般 2,000円　学生（24歳以下）1,000円
※未就学児の入場不可
●出演：鈴木麻美（ヴォーカル）、藤森潤一（ピアノ）
鈴木辰美（ベース）、星合厚（ドラムス）
●浜松市楽器博物館　TEL.053-451-1128 ア オ

イヴニングサロンコンサート

「第29回国際古楽コンクール《山梨》の入賞者コンサート
ピュアー＆クリスタル ～ギター・デュオ～」

12.17（土） 18:30

●楽器博物館 天空ホール
●全席自由：一般 2,000円
学生（24歳以下）1,000円
※未就学児の入場不可
●出演：Duo HPD デュオ ハーペーデー
（井本響太/山田唯雄）
●浜松市楽器博物館
TEL.053-451-1128 ア オ

ACT New Artist Series

アクト・ニューアーティスト・シリーズNo.106

「毛利文香 ヴァイオリン・リサイタル」

12.18（日） 15:00

●アクトシティ浜松 音楽工房ホール
●全席自由：一般2,500円
学生1,000円（24歳以下）
※未就学児の入場不可
●曲目：ベートーヴェン／
ヴァイオリン・ソナタ第9番 イ長調
Op.47「クロイツェル」ほか
●文化事業課
TEL.053-451-1114 ア オ

ふれあい感謝祭～日頃のご愛顧に感謝を込めて

12.23（金）**24**（土） 10:00～16:00

●浜北文化センター 大ホール（舞台発表）
多目的室 ほか（展示発表）
●入場無料
●浜北文化センター利用団体等の日頃の成果の発表
●浜松市浜北文化センター　TEL.053-586-5151

浜松科学館30周年特別企画

「30年ここまで進んだ科学と技術展」

－昭和のゲーム機から、平成のティラノサウルスまで－

12.23（金）～**4.2**（日）

●浜松科学館 1階無料エリア
●入場無料
●浜松科学館
TEL.053-454-0178

ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ ニューイヤーコンサート

1.15（日） 15:00

●アクトシティ浜松 大ホール
●全席指定：S席7,000円　A席6,000円　B席4,500円
学生席1,500円（24歳以下）
※未就学児の入場不可
●スペシャルゲスト：綾戸智恵
●文化事業課　TEL.053-451-1114 ア オ び
※特集1（P4～7）もご覧下さい。

楽器博物館講座
楽器の中の聖と俗「鳥と人間の音楽交流」（全4回）

第1回「鳥は神様か、便利な友人か」

1.16（月） 19:00-20:30

●楽器博物館 展示室
●全席自由：第1～3回は各回1,000円　第4回は2,000円
第1～4回通し券は4,000円 ※通し券の販売は1/16まで
●講師：西岡信雄
（大阪音楽大学名誉教授・浜松市楽器博物館名誉館長）
●浜松市楽器博物館　TEL.053-451-1128

第34回浜北寄席 ～立川談笑独演会～

1.22（日） 13:00／16:00

●浜北文化センター 小ホール
●全席指定：3,500円
※未就学児の入場不可
●浜松市浜北文化センター
TEL.053-586-5151
ア オ び

和洋奏楽 ～世代とジャンルを超えた音楽の世界～

1.22（日） 14:00

●アクトシティ浜松 中ホール
●指定席：2,000円
自由席：一般 1,500円
学生 500円（高校生以下）
※未就学児の入場不可
●文化事業課　TEL.053-451-1151 ア オ び

クリエートの冬まつり

1.28（土） 11:00～16:00　**1.29**（日） 10:00～16:00

●クリエート浜松
●入場無料
●クリエート浜松利用団体等の、日頃の練習・活動の成果発表の場として演芸・展示の発表会を開催。館内や中庭を利用して飲食物・物品販売もあります。
●ギャラリー展示
1/27（金）～29（日） 10:00～16:00
●クリエート浜松　TEL.053-453-5311

第8回浜松市民バンドフェスティバル

1.29（日） 13:00

●浜北文化センター 大ホール
●全席自由：500円（当日 700円）
※小学生以下無料
●浜松市浜北文化センター　TEL.053-586-5151 ア オ

木下惠介リスペクト企画　山本晋也監督×渡辺支配人

「惠介を語る！！with LOVE」

1.29（日） 13:00

●木下惠介記念館 2階アートホール
●全席自由 1,000円
●木下惠介記念館
TEL.053-457-3450

楽器博物館講座
楽器の中の聖と俗「鳥と人間の音楽交流」（全4回）

第2回「鳥を真似て歌い踊る」

1.30（月） 19:00-20:30

●楽器博物館 展示室
●全席自由：第1～3回は各回1,000円　第4回は2,000円
●講師：西岡信雄
（大阪音楽大学名誉教授・浜松市楽器博物館名誉館長）
●浜松市楽器博物館　TEL.053-451-1128

セキスイハイム東海 スペシャル

ミュージカル「天使にラブ・ソングを ～シスター・アクト～」

2.3（金） 19:00　**2.4**（土） 14:00

●アクトシティ浜松 大ホール
●全席指定：S席 12,500円　A席 10,000円
※未就学児の入場不可
●文化事業課　TEL.053-451-1114 ア オ び

ゆるやかコンサート特別篇
～ベリーダンスの世界～

2.4（土） 10:30～11:15

●浜北文化センター 小ホール
●高校生以上 1人500円　子ども無料（同伴の0才～中学生）
●対象：赤ちゃん、未就学児をお連れの子育て中の保護者の方。
●浜松市浜北文化センター　TEL.053-586-5151

名古屋フィルハーモニー交響楽団 創立50周年記念 浜松特別公演

2.5（日） 15:00

●アクトシティ浜松 大ホール
●全席指定：S席5,100円　A席4,100円　B席3,100円
C席2,100円　Y席1,000円（24歳以下・当日券のみ）
※未就学児の入場不可
●曲目：シューマン／
ピアノ協奏曲イ短調作品54 ほか
●指揮：下野竜也
●ピアノ：ロマーン・ロパティンスキー
（第9回浜松国際ピアノコンクール第2位）
●名フィル・チケットガイド
TEL.052-339-5666 ア オ び
※特集2（P8～9）もご覧下さい。

ロマーン・ロパティンスキー

名古屋フィルハーモニー交響楽団

下野竜也

ACT New Artist Series アクト・ニューアーティスト・シリーズNo.107 「景山梨乃 ハープ・リサイタル」

2.12（日） 15:00

●アクトシティ浜松 音楽工房ホール
●全席自由：一般 2,500円
学生 1,000円（24歳以下）
※未就学児の入場不可
●曲目：グランジャニー/子供の時間
モーツァルト/
ピアノ・ソナタ 第13番 変ロ長調
K.333 ほか
●文化事業課
TEL.053-451-1114
ア オ

第7回はままつグローバルフェア

2.12（日） 10:00～17:00

●クリエート浜松
●入場無料（有料プログラムあり）
●アジア・アフリカの雑貨やアクセサリーなどのフェアトレードショップやブラジル料理をはじめとした世界の料理。ダンス、アート、世界を学ぶステージ、もの作り、ゲームを通じて世界の課題を学ぶワークショップなどなど…子どもから大人まで五感で世界を体感し、学べるイベントです。
●クリエート浜松
TEL.053-453-5311

楽器博物館講座
楽器の中の聖と俗「鳥と人間の音楽交流」（全4回）
第3回「鳥の音楽教室」

2.13（月） 19:00-20:30

●楽器博物館 展示室
●全席自由：第1～3回は各回1,000円　第4回は2,000円
●講師：西岡信雄
（大阪音楽大学名誉教授・浜松市楽器博物館名誉館長）
●浜松市楽器博物館　TEL.053-451-1128

第16回こども音楽鑑賞教室
「となりのオーケストラ」

2.22（水）**23**（木） 10:30／13:30

●アクトシティ浜松 大ホール
●全席自由：500円（一般）
※未就学児入場不可
●浜松市内の全小学5年生がオーケストラの演奏を聴く鑑賞事業です。2～4階バルコニー席を一般の方に開放し販売します。
●指揮：渡邊一正
●演奏：浜松フィルハーモニー管弦楽団
●第1部：「オーケストラへようこそ」
D.カバレフスキー／組曲「道化師」より「ギャロップ」
G.ホルスト／組曲「惑星」より 木星 にのせて
～楽器紹介
J.ウィリアムズ／交響組曲「スター・ウォーズ」より
メイン・タイトル
第2部：「オーケストラと一緒に」
浜松市歌、E.エルガー／行進曲「威風堂々」第1番
第3部：「オーケストラを味わおう」
A.ボロディン／歌劇「イーゴリ公」より だったん人の踊り
G.ビゼー／「アルルの女」第2組曲
●文化事業課　TEL.053-451-1150 ア オ び

楽器博物館講座
楽器の中の聖と俗「鳥と人間の音楽交流」（全4回）
第4回「鳥声入り音楽 中世からメシアンへ」

2.27（月） 19:00-21:00

●楽器博物館 展示室
●全席自由：2,000円
●講師：西岡信雄（大阪音楽大学名誉教授・
浜松市楽器博物館名誉館長）
●演奏：中野振一郎（チェンバロ演奏）
羽賀美歩（ピアノ演奏）
●浜松市楽器博物館
TEL.053-451-1128

オルガンミニコンサートNo.82

2.28（火） 12:30（12:50終演予定）

●アクトシティ浜松 中ホール
●入場無料
※小さなお子様も入場できます。
●オルガン：吉田久子
●文化事業課　TEL.053-451-1151

第21回浜松国際ピアノアカデミー

3.3（金）～**12**（日）

3.3（金） 18:30

■中村紘子
メモリアルコンサート
●アクトシティ浜松 中ホール
●全席指定：一般3,000円
学生 1,000円
●出演：ウラディミル・トロップ
ボリス・ペトルシャンスキー
河村尚子
奈良希愛

©Hiroshi Takaoka

3.4（土）～**10**（金）

■公開レッスン
●1レッスン1,000円

3.4（土） 19:00

■無料公開イベント
シンポジウム「中村紘子先生を語る会」
●アクトシティ浜松 音楽工房ホール
●入場無料（要整理券）

3.5（日） 14:30

■無料公開イベント
「子どものための無料公開レッスン」
●アクトシティ浜松 音楽工房ホール
●入場無料（要整理券）

3.7（火） 19:00

■無料公開イベント「ピアニストのための公開講座」
●アクトシティ浜松 音楽工房ホール
●入場無料（要整理券）
●講師：古屋晋一

3.10（金） 19:00

■海外教授によるレクチャーコンサート
●アクトシティ浜松 音楽工房ホール
●全席自由：一般1,500円
学生500円

3.11（土） 第1部10:30～14:00　第2部15:00～18:30

■ピアノアカデミーコンクール 予選
●アクトシティ浜松 中ホール
●全席自由：一般 1,000円　学生 500円

3.12（日） 第1部13:30～15:00　第2部16:00～18:30

■ピアノアカデミーコンクール
本選
●アクトシティ浜松 中ホール
●全席自由：一般 1,000円
学生 500円

3.12（日） 19:30～20:00

■ピアノアカデミーコンクール
表彰式・講評
●アクトシティ浜松 中ホール
●入場自由

●浜松市アクトシティ音楽院　TEL.053-451-1150
ア オ び

詳細はピアノアカデミーHPをご覧ください。
http://www.actcity.jp/hacam/PianoAcademy/

バンド維新2017

3.4（土） 13:30

■作曲家によるレクチャーと公開練習
●アクトシティ浜松 中ホール
●全席自由：1,500円

3.5(日) 14:00

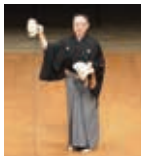
■作品発表コンサート
●アクトシティ浜松 中ホール
●全席自由:一般2,500円 学生1,000円
※3歳以下の入場不可

●文化事業課 TEL.053-451-1114
ア オ び

〈アクトシティ能・狂言プレイベント〉
これは知らなかった!
能・狂言のとっておきの楽しみ方

3.6(月) 15:30

●アクトシティ浜松 大ホール
●全席指定:500円
※未就学児の入場不可
●8月に開催される「アクトシティ能・狂言」のプレイベントとして、能・狂言を楽しむための基礎講座
●文化事業課 TEL.053-451-1114 ア オ び



(前回の様子)

ジュニアオーケストラ浜松・ジュニアクワイア浜松
スプリングコンサート2017

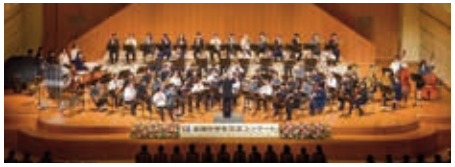
3.12(日) 13:30

●アクトシティ浜松 大ホール
●全席自由:500円
●第1部:ジュニアクワイア浜松
「九ちゃんが歌ったうた−上を向いて歩こう」より 他
第2部:ジュニアオーケストラ浜松
序曲「1812年」/チャイコフスキー 他
第3部:合同演奏
童声合唱組曲「あめつちのうた」/上田真樹
●文化事業課 TEL.053-451-1151 ア オ

浜松吹奏楽大会2017

3.25(土) 14:00

■第5回全国中学生交流コンサート
●アクトシティ浜松 中ホール
●全席自由:一般1,000円
高校生以下入場無料(要整理券)
※未就学児入場不可
ア オ び ※高校生以下整理券はアのみ



3.25(土) 10:00 ※雨天中止

■プロムナードコンサート
●キタラ(JR浜松駅北口広場)

3.26(日) 10:00

■第29回全日本高等学校選抜吹奏楽大会
●アクトシティ浜松 大ホール
●全席自由:2,800円
※未就学児入場不可
●文化事業課 TEL.053-451-1151 ア オ び

アクトシティ浜松友の会
ビバーチェクラブ 会員募集中!!
友の会年会費(税込)
一般会員:2,000円 クレジット会員:3,000円
チケットがオンラインで予約できます。
詳しくはホームページをご覧ください
http://hcf.or.jp/vivace/
お問い合わせ先 TEL.053-451-1115 vivace@actcity.jp

チケット販売場所 アアクトシティチケットセンター オHCFオンラインショップ http://www.hcf.or.jp/ びチケットぴあ
この情報は2016年11月15日現在のものです。都合により日時、金額など変更になる場合もございますのであらかじめご了承ください。

新シリーズ開催決定!!

アクト・プレミアム・シリーズ ～世界の名演奏家たち～

2017年、新シリーズがスタートします。
その名は「アクト・プレミアム・シリーズ～世界の名演奏家たち～」。
毎年、豪華ラインナップで世界の著名なアーティストがアクトシティの中ホールにやってきます。
世界最高峰の音楽にご期待ください。

vol.1 | 2017 6/27[火]
チャイコフスキー国際コンクール優勝者同士の夢の共演!
諏訪内晶子〈ヴァイオリン〉&
ボリス・ベレゾフスキー〈ピアノ〉

©吉田民人

©Yuri Bogomaz

vol.2 | 2017 10/4[水]
2003年浜松最高位、2005年ショパン国際ピアノコンクール優勝、11年ぶりの浜松凱旋公演!
ラファウ・ブレハッチ〈ピアノ〉

©Felix Brode

vol.3 | 2017 11/27[月]
世界一のホルン奏者と世界的ハープ奏者による豪華共演!
ラデク・バボラーク〈ホルン〉&
吉野直子〈ハープ〉

©Lucie Cermakova

©Akira Muto

vol.4 | 2017 12/5[火]
脈々と引き継がれてきた伝統の響き、世界最古のクァルテット!
ゲヴァントハウス弦楽四重奏団
〈弦楽四重奏〉

©JENS GERBER

vol.5 | 2018 1/23[火]
2009年浜松、2015年ショパン国際ピアノコンクール優勝
今や世界のピアノ界で最も注目されるピアニスト!
チョ・ソンジン〈ピアノ〉

©Masayuki Nakajima

[会場] アクトシティ浜松 中ホール

公演内容につきましては、決まり次第、チラシ・HP等で発表します。

舞台袖

この秋行われた「世界音楽の祭典in浜松」。多くの海外アーティストをお迎えして多彩なイベントが開催されました。各会場では、世界を間近に感じる演奏を〝見て・聴いて・リズムに乗って〟と、お客様がそれぞれに楽しんでいる姿が印象的でした。一部のアーティストによる市内飲食店やジャズクラブ、ショッピングセンターでのライブも盛り上がり、出演者と市民との交流の輪があちらこちらで生まれた数日間でした。

(公財)浜松市文化振興財団 所管施設

アクトシティ浜松(施設のご予約)

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1111　FAX.053-451-1123

アクトシティ浜松(事業のご案内)

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1114　FAX.053-451-1123

浜松市アクトシティ音楽院

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1150　FAX.053-451-1123

浜松市楽器博物館

〒430-7790
浜松市中区中央3-9-1
TEL.053-451-1128
FAX.053-451-1129

クリエート浜松

〒430-0916
浜松市中区早馬町2-1
TEL.053-453-5311
FAX.053-453-5379

浜松文芸館

〒430-0916
浜松市中区早馬町2-1
クリエート浜松4・5階
TEL.053-453-3933
FAX.053-453-3933

浜松科学館

〒430-0923
浜松市中区北寺島町256-3
TEL.053-454-0178
FAX.053-454-0184

浜松市旧浜松銀行協会(木下恵介記念館)

〒432-8025
浜松市中区栄町3-1
TEL.053-457-3450
FAX.053-457-3450

浜松こども館

〒430-0933
浜松市中区鍛冶町100-1
TEL.053-450-9111
FAX.053-458-0300

浜松市浜北文化センター

〒434-0038
浜松市浜北区貴布祢291-1
TEL.053-586-5151
FAX.053-586-5153

発行元／公益財団法人浜松市文化振興財団

〒430-7790　静岡県浜松市中区板屋町111-1
TEL 053-451-1131　FAX 053-451-1123
http://www.hcf.or.jp

平成28年11月28日発行